

岡山県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者養成研修会
基礎研修 受講者 様

岡山県サービス管理責任者等養成研修会 基礎研修担当
グループホーム事業所『ももぞの』 加藤 徹憲
療育センターもっこ ぱすてるらんぷ 丸田 遼佑
障害福祉サービス事業所 あおば 杉原 良行

サービス管理責任者等養成研修(基礎研修)受講にあたっての課題について

サービス管理責任者等養成研修受講者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、いよいよ標記研修会を控え、下記の課題を準備させていただきました。これらの課題について研
修当日（演習初日）までに作成していただき研修会に臨んでくださいますようお願い申し上げます。

演習日初日に課題を必ずご持参ください。

尚、課題の作成を怠った場合には受講不可となります。何卒ご協力をお願いいたします。

記

【課題①について】・・・事業所パンフレット（8部）

・当日、自己紹介を行うため、**事業所パンフレット（8部）**を演習初日にご準備ください。事業所に所
属していない等、準備できない受講者については準備不要です。

【課題②について】・・・別添：記入様式1、記入様式2、記入様式3

参考資料、事例の概要、アセスメント票を読んでもいただき、「100文字要約」（記入様式1）、「ニーズの
整理表」（記入様式2）を作成してください。

目 的	事前に事例を読み込み、ニーズの整理表を作成した上で研修に臨むことにより、出来得る限りの情報を持った上での 研修開始が可能となります。その情報を元に、演習①において、各グループ内でそれぞれが作成したニーズの整理表 を利用して情報共有を図ります。その後、相談支援専門員が作成したサービス等利用計画を参考に個別支援計画 の原案を作成します。そのための「100文字要約」と「ニーズの整理表」になります。	
	課 題 に つ い て	
	（記入様式1） 100文字要約	演習での参考資料となるため、必ず記入し持参してください。 ×
	（記入様式2） ニーズの整理表	○ コピーをして全10部用意 2部は →受付で提出 8部は →演習で使用
	（記入様式3） サービス管理責任者 について先輩に聞いて みよう！	演習2日目で参考となりますので、必ず作成し所持しておいてくだ さい。 ×

【課題③について】・・・記入様式なし

障がい分野における相談支援専門員、及び、当員が作成するサービス等利用計画について事前学習をしておいてくだ
さい。相談支援専門員の役割、当員とサービス管理責任者等との関係性等について、併せて、サービス等利用計画に
についても同様に事前学習をお願いします。

・相談支援専門員、及び、当員が作成するサービス等利用計画についての事前学習では、記入様式はなく提出の
必要ありません。（演習での必要知識ですので事前学習をお願いします。）

〔 記入様式2、3について 〕

記入様式は、岡山県障害福祉課の HP に 10 月 1 日（木）頃より掲載しますので、ご利用される方はダ
ウンロードされたうえ、ご活用ください。

「100文字要約」「ニーズの整理表」の記入について

- 演習では、（１）現在あるアセスメントからニーズの整理を行い （２）時間軸に配慮した到達目標を含む個別支援計画の作成が目的である。
- ケアマネジメントのアセスメント、ニーズ整理、ご本人の希望に即した個別支援計画の作成について、再確認する機会となる。
- 全体像の把握（要約）は事例の要約による情報の共有化を確認することが目的である。

- アセスメントでは、できることとできないことをチェックしているうちに、ご本人の全体像がぼやけてしまうことがあります。
- ご本人の意向等のニーズを一つひとつ整理しながら支援ニーズを全体的に整理する。
- ご本人の能力、家族、インフォーマルな支援等の状況等は、利用者の状況、環境の状況に整理する。
- 支援者の気になることや推測できることには、ご本人の強み、可能性、揺れ具合も含めた見立てとして整理する。
- 支援者の見立てのうえで、ご本人の希望に即した支援を行うためには、ご本人の全体像を確認する。⇒「○○さんって、どんな人」ということを、100字程度でまとめてみる（箇条書きでも可）。4、5人で発表するとかなりのずれがあるはず。実際にグループで発表して頂きます。
- ご本人の全体像をふまえ、ご本人の希望に即した具体的到達目標を整理する。

事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

霞が関 太一 さん 記入者 相談支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木 はやと

事例タイトル	精神科病院を退院して、初めての福祉サービスを利用しながら地域で生活する事例
相談経過の要約	統合失調症を発症して同じ地元の病院に3回入院退院を繰り返している。1回目は19歳の時に会話が噛み合わなくなったり不眠になったりして仕事（ラーメン屋の副店長）に行けなくなり、家族が心配して精神科病院を受診した。そのまま任意入院となったが、本人の退院希望があつて1週間で退院となった。退院後は実家で父と妹2人の4人で暮らしていたが、1回受診しただけで通院治療にはつながらなかった。仕事も辞めて退院から6ヶ月後に2回目の入院。「映画スターにスカウトされている」等、非現実的な話をして家族のお金を浪費していた。3ヶ月間入院して病状も落ち着いてきたので退院後、実家に。居酒屋でアルバイトを始めるが1ヶ月で辞める。その後もアルバイトを転々とするがすぐに辞めてしまった。受診も退院してから1ヶ月間は通院していたがその後は行かなくなった。退院して5ヶ月後に県外（東京）でお金を持たずに放浪しているところを警察に保護されて、意味不明な事を言うなど病状が悪化していたため3回目の入院となった。家族と一緒に生活すると本人に振り回されてしまうのでこれ以上一緒に住めないとのこと。父も本人のために何度も欠勤したり、受験生の妹も迷惑している様子。3回目の入院で3ヶ月が経って、病状も落ち着いているので、病院のソーシャルワーカー（PSW）が本人と退院後の生活について話し合った。その結果、本人は「3回も入院してしまって自分一人で頑張っても上手く行かない事がわかった。人に協力してもらいながら生活していこうと思っている。」と語る。そのために先日、グループホームの見学に行ったが、そこで同じ年齢くらいで統合失調症の方が暮らしていた。その方は、「将来的には一人暮らしをするためにここ（グループホーム）で練習をしている。」と言っていたのを本人が聞いて、「自分もここで（一人暮らしの）練習がしたい。」と希望された。」「それと、通院と服薬も必要と思うようになった。」と話す。一人暮らしをしたことがない不安と見学時の話からグループホームが提案されている。日中の活動に関して本人は、「将来的には一人暮らしをして車を買いたい。生活保護では車を買えないので、就職して稼ぎたい。」と希望されている。今回の退院後は就労B型を利用して就労訓練を予定している。そこで相談支援事業所に病院のPSWから連絡が入って支援開始となった。
年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴	年齢（21歳）・性別（男） A市で生まれて以来家族と生活してきた。 家族構成 現在の実家は、父親と妹2人の3人暮らし。 父：会社員。 母：5年前に離婚して同じ市内で別居。生活保護を受けて一人暮らし。統合失調症の治療中。 妹：高校3年生と1年生の2人
手帳・区分	精神障害者保健福祉手帳 障害支援区分 2
生活歴及び病歴	〔生活歴〕 A市で生まれ育つ。小中学校特に問題なく通い、地元の高校に進学。成績は普通で中学3年間と高校2年生までバスケットボール部だった。母は統合失調症の治療で入院退院を繰り返していたが、本人が高校2年生の時に離婚して母一人で家を出て行った。卒業後は高校3年生の時からアルバイトをしていた市内のラーメン屋に就職した。この頃に自動車普通免許を取得。仕事ぶりは真面目で休む事もなかったが、就職して1年後に副店長として新規の店舗を任されるようになった。父は「その事から（本人が）無口になって不眠が続いていた。かなり無理をしていたと思う。」という。そこから欠勤するようになって1回目の精神科入院となった。 〔病歴〕 統合失調症の病状が悪化している時は、「芸能プロダクションからスカウトされている」「俳優のCさんがテレビのドラマを通じて自分（本人）にメッセージを送っている」等の妄想があり、それらの妄想を元に後先考えずあてもなくに東京に行ってしまう事もあった。過去に通院や服薬について自己中断してしまう事が続いた。服薬を始めると状態は落ち着くが、妄想がスッキリとなくなる事はない様子。しかし、妄想に振り回されるような大胆な行動はなくなる。
経済状況	障害年金（約68,000円） 補足給付：家賃10,000円 預貯金なし 生活保護（約30,000円）は退院と同時に利用となる。
相談に至る経緯	本人の地域での暮らしを始めるための方法を考えた
望んでいる暮らし	本人は、「今まで父親や家族に迷惑をかけてきたので、自立した生活をしたいと思う」と将来的には一人暮らしを希望している。そのためにいきなり一人暮らしを始めるのは本人も家族も不安だし自信がないとのことなので、病院のPSWに薦められたグループホームで地域生活の経験を積んで行こうと思っていることを話してくれた。 車が好きで以前は少し改造した車で友人達とドライブに行くのが好きだったので、また車を買ってドライブをしたいと希望されている。そのために生活保護では車を買えないので、仕事をしてお金を稼いでアパートを借りて車を買いたいとのこと。どれくらい先のことか尋ねると、本人は「1年後くらいかな」と答えた。仕事については、飲食店で仕事をしていたので、できれば飲食店で働きたいと言うが、別に他の仕事でもいいとも言う。
本人の状況と最近の様子	数日前から服薬の自己管理を院内で行いはじめたが上手く出来ている。作業療法等の院内の活動にも積極的に参加している。日中は同じ病棟の患者さんと一緒に近くの喫茶店でお茶をするのが楽しみになっている様子。
その他	母とはたまに連絡を取っているとのこと。かかりつけの精神科病院が同じ。退院したら母に会いたいと思っていると本人は言う。

アセスメント票

記録：相談支援センターひまわり

相談支援専門員 六本木はやと

相談日時	令和8年8月1日 13時～15時
氏名等	霞が関 太一 氏、21歳、男性、統合失調症
心身の状況	身長170cm 体重75kg 特に問題ない。本人は最近肥満体型になってきたのを気にしている。
精神面の状況	現在は落ち着いているが、病状が悪化すると妄想を元に行動を起こすことがあるので、周りの人からは変わった行動とみられることもあるとのこと。 見た目は大人しそう。父からは「本人は人に頼まれると断れないタイプ」「以前は愛想がいいので人から可愛がられていたが、病気になって暗くなった」と言われている。
生活の自立度	ADL(日常生活動作)はすべて自立している。 IADL(手段的日常生活動作)は今まで家事をやらなくてはならない状況がなかったので、練習をすれば身体機能的にはできるようになるかも。病状が良くないと気力が出ずに出来なくなることが予想されると病院からの情報。
気持ちの自立度	今まで福祉サービスを利用したことがないので、初めは戸惑うことがあると思われる。また、自分でなんとかしようと生きてきた方なので、上手く他人に相談することに慣れていない様子。
服薬状況	入院中に服薬自己管理練習中。退院後は朝・夕・寝る前の処方予定
経済状況	<収入面> 障害基礎年金2級(68,000円)、生活保護費(30,000円)、工賃 <支出面> グループホームの費用 家賃30,000円(家賃補助10,000円) 食費20,000円 光熱水費15,000円 日用品費10,000円 金銭管理は自分でできるが、浪費癖がある。
趣味	ドライブ・バスケットボール・音楽鑑賞・買い物(服)・スマホのゲーム
キーパーソン	今までは父親が全面的に支援してきた。
家族	父方母方の祖父母について、父方の祖母は県外(遠方)にいるが、以外は他界している。 祖父母には年に1回家族で会いに行っていた。
就労	お金を稼ぎたいという思いがあり、就労への意欲は高い。これまでの職歴は、ラーメン屋を辞めて以降はアルバイトを転々としており、どれも長続きはしていない。手先が器用で丁寧な仕事ができるが集中力が続かないことが多い。現在は、1日2時間程度の作業に従事できる体力である。自分の得手・不得手の分析ができていないが、飲食関連の仕事には興味をもっている。早起きが苦手で生活リズムがなかなか安定しない。移動手段は主に自転車を利用しており、就労に際しての通勤手段が限られている。

「100文字要約」

事例の概要、アセスメントをよく読みこんで100文字程度で要約してください。

[illegible]

所属事業所名：

受講No.：

受講者氏名：

課題②
記入様式 2

※コピーをして10部(県提出用：1、ファシリテーター用：1、本人用：1、
グループメンバー用：7)用意すること。

ニーズの整理表

グループ

利用者名 霞が関 太一 さん

No	意向等ニーズの把握	初期状態の評価 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	願いや希望を満たすための 具体的な到達目標
	・グループホームでさまざまな経験を積んで力をつけたい (以下余白に意向等ニーズを2～3点記入し、ニーズ整理を行って下さい)	・障害支援区分2 ・地元高校卒業後ラーメン店に就職するが、一年で不調となり、21才までに3回精神科病院への入退院を繰り返す	・福祉サービス利用への戸惑いが予想されること、他者への相談にあまり慣れていない ・作業療法等の院内の活動も積極的に活動している	・一人暮らしに向けて、自分でできることを増やしていきたい

サービス管理責任者について先輩に聞いてみよう！

◆あなたの働いている事業所で、サービス管理責任者として働いている職員に以下のことを、聞き取りをしてください。近くにいない場合は、関連のある事業所の方でも大丈夫です。

○サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)としてのやりがいは何ですか？

○サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)として心がけていることはどのようなことですか？

アセスメントシート

氏名 霞が関 太一

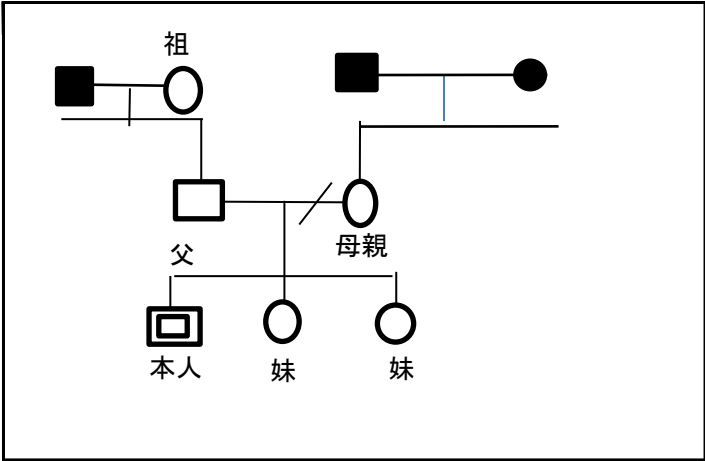
記入 グループホーム「ピアハウス」 サービス管理責任者 川崎まさお

項目		介助が いるか	程度	項目		介助が いるか	程度	
日常生活面	起居動作	起き上がり	☐		衛生保持	手洗い	☐	
		寝返り	☐			爪切り	☐	
	姿勢保持	座位	☐			耳掃除	☐	
		立位	☐			月経	☐	
	移動	屋内	☐		行排泄	排尿	☐	
		屋外 (徒歩)	☐		排便	☐		
	衣類着脱	着脱行為	☐		食事全般	飲食行為	☐	
		服装の選択	☐			食事状況	☐	
	整容行為	歯磨き	☐			食事の後片付け	☐	
			☐		調理全般	調理	☐	
			☐			安全確認	☐	
			化粧	☐		入浴全般	入浴の準備 と片付け	☐
		入浴全般	洗濯	☒	入浴		☐	
	洗濯物干し		☒		家事全般		洗濯	☒
	掃除		☒			洗濯物干し	☒	やったことがないので支援が必要
	衣類整理	☐		掃除		☒	やったことがないので支援が必要	
	所持品整理	☐		衣類整理		☐		
	ペットメイク	☐		所持品整理	☐			
特記事項 病状の悪化時には妄想による行動を行うことで精一杯になってしまい、日常生活でやらなければならないことや金銭の管理等が全然できなくなってしまう。家事をやった経験がないので援助があればできるようになると予測できる。（入院中の作業療法の評価から推測）朝起きるのが苦手なので、就労Bの事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。								
コミュニケーション	困ったときに相談しているところ 相談支援センター「ひまわり」 就労センター「スマイル」 グループホーム「ピアハウス」 西村病院（内科・精神科）				生活上の支援機関、支援者など ・・・・サービス等利用計画作成について ・・・・退院後に利用予定の就労継続B型事業所 ・・・・退院後に利用予定のグループホーム ・・・・入院時の病院（通院予定）			
	意思の表現方法 言葉でのコミュニケーションが十分できる。仕事をしていた時は、地元の仲間と月に1回バスケットボールをしていて友人も多かったとのこと。その時は彼女もいたというので、もともとコミュニケーションをとるのが上手かったのではないかと思われる。入院中も同じ年齢くらいの患者さんと院外の喫茶店に行ったり作業療法のプログラムも仲のいい患者さんと参加されていたことを考えるとコミュニケーションをとるのは上手。以前は携帯電話でメールのやり取りも行ってた。人に好かれるタイプで入院中は特に年上の人に可愛がられている。							
社会参加・移動	好きなこと ドライブ・バスケットボール・音楽鑑賞・買い物（服）・スマホのゲーム 嫌いなこと うるさい場所・不良っぽい人 移動の方法 徒歩・公共交通機関 ※普通自動車免許証があるので車と原付の運転ができる。							
家庭生活	どこでだれと暮らしているか？ 退院後はグループホームで生活をする予定。 家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 父親は会社員で、本人が病状の悪化時には色々な支援を行ってきた。							
	主な生活財源 生活保護費30,000円 就労による収入 預貯金							

経済状況	0円/月			0円	
	☒ 基礎年金 68,000円			☐ 障害者特別手当	☐ その他
行動面	項目	介助が いるか	程度	特記事項 病状によって行動面や感情面が大きく左右されてしまう。逆に病状が安定すれば多くのことができて自立した生活が出来る。病状が悪くならなければ多くのことにチャレンジできると思われるが、悪化すると妄想に基づく行動をとってしまい、東京等に行ってしまうことが予想される。以前に病状が悪化した時には服薬をしていなかったこともあるが、部屋に引きこもって食事を取らずに寝ていなかったことで病状の悪化が加速して東京に行ってしまった警察に保護されたと父からの情報がある。このことから服薬はもちろん必要だが、それ以外に、睡眠時間の確保と食事がしっかりとれることも大事であると思われる。芸能事務所にスカウトされているという妄想は消えることなく残っているが、そのことであてもなく東京に行ってしまうことには懲りていると本人は言う。「また入院するのは懲り懲りなので、あてもなく遠くに行くことはしない」と語る。	
	行動面での障害1				
	こだわり行動	☐			
	徘徊	☐			
	無断外出 無断外泊	☒	病状の悪化時にはあてもなく県外に いってお金がなくなり保護される。		
	錯覚・幻視・幻聴	☒	幻聴あり「東京に來い」「のろ ま」などなど		
	被害妄想	☒	近所の人たちからバカにされてい ると思っている。		
	自殺願望・企画	☒	病状の悪化時にはうつ状態になって、自殺を 考えてしまう時もあるというが、行動に移し たことはない。		
	不潔行為	☐			
	異食行為	☐			
	収集癖	☐			
	物忘れ	☒	病状の悪化時には、他人が言った 事のほとんどを覚えていないこと がある。		
	反社会的行為 (盗癖、虚言など)	☐			
	行動面での障害2				
	自傷行為	☐			
	他者に対する 粗暴行為	☐			
	器物に対する 粗暴行為	☐			
	奇声や騒がしさ	☐			
	パニック	☐			
	多動・行動の停止	☐			
思考障害	☒	病状の悪化時には考えがまとまら ず、最終的には思考停止になると のこと。			
感情・障 害・思 考	感情不安定	☒	病状のが不安定になると感情も不 安定になる。		
	過大・過小 評価	☒	病状の悪化時には「なんでも出来 る」気になるとのこと		

《その他》

主治医からは、病状が悪化しそうになった時に本人からSOSが出せるような場所(人)と、周りが気づける関係性ができると、入院までしなくても外来治療で乗り切れると思われるとのこと。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。本人もこんな時はここに電話下さいと伝えておけばSOSを言えるし安心できると言う。



サービス等利用計画

利用者氏名	霞が関太一	障害支援区分	区分 2	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		
計画作成日	令和8年9月1日	モニタリング期間(開始年月)	令和 9 年 1 月	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向 (希望する生活)	今まで父親や家族に迷惑かけてきたので自立して生活したい。将来は一人暮らしをしたいが、これまで一人ではうまくいかなかったのでいろいろな人に協力をしてもらいながら生活ができたと思っている。今は一人暮らしに自信がないが、グループホームで一人暮らしに向けた練習がしたい。一年後くらいには就職してお金を稼ぎ、アパートを借りて生活し、車を買ってできれば彼女とドライブに行きたい。もう入院はしたくないので通院や服薬もして、時々声が聞こえたり、不安になった時には相談に乗ってくれる人がいれば安心できると思う。父親もいきなり一人暮らしでは不安があるのでグループホームで練習をすることについては理解をしている。				
総合的な援助の方針	グループホームを一つのステップとしてできることを増やし、支援を受けながらも自由な一人暮らしを目指す。今は就労継続支援B型を使うが、就労を目指し、昔のように就職をしてお金をためて車を買って出かけられるような暮らしを目指す。また、不安な時や苦しい時には相談できる人やS O Sを発せられる人を確保できるようにする。				
長期目標	グループホームピアハウスで通院や服薬、相談をしながら生活し、洗濯や掃除などこれまでやってこなかった様々な生活のことを練習して一人暮らしを目指す。飲食関係の仕事も興味はあるとのことなので福祉センターにてカフェコーナーを運営している就労B型スマイルで仕事をしながら飲食関係、もしくは他の適職での就職を目指す。				
短期目標	ピアハウスの同居のメンバー、西村先生、P S Wの岩崎さん、ピアハウス世話人の豊田さん、サビ管の川崎さん、就労センタースマイルの支援員の鈴木さん、サビ管の本田さん、相談支援専門員の六本木とこれからの暮らしや仕事、不安なことも含めて相談しながら進める。その中でまずは遅刻をしないことや洗濯、掃除について練習し、福祉センターのカフェ「ステップ」で仕事をする。				

優先順位	解決すべき課題 (本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための 本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名 (担当者名・電話)			
1	生活上のことは人に協力してもらい相談しながらやっていきたい。	生活や仕事上で困ったり、不安だったりしたことはまず自分だけで判断せず相談できるようになる	6 ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 相談支援事業所 随時 病院 随時	ピアハウス 豊田・川崎 スマイル 鈴木・本田 ひまわり 六本木 西村病院 岩崎・西村 父親	1日の出来事を豊田さんに報告します。仕事については鈴木さんに相談します。 服薬をして定期的に通院をします。通院の際は、岩崎さんにここ1か月の報告をします。	1 ヶ月	霞が関さんに関わっている人たちで情報共有することをそれぞれ確認してください。父親への定期の報告は六本木が実施。変化や新たな課題については共有してください。
2	グループホームでさまざまな経験を積んで力をつけたい。	洗濯や掃除など今までほとんどやったことがないので練習する。	1 2 ヶ月	グループホーム 毎日	ピアハウス 豊田・川崎 グループホーム同居者	掃除や洗濯の仕方を豊田さんや一緒に住んでいる人たちに教えてもらいます。	3 ヶ月	グループホームで生活する中でニーズに変化がある可能性があることに留意し、サビ管と支援計画の検討をお願いします。また、関係者と共有願います。
2	できれば飲食関係の仕事につきたいのでそのための準備をしたい。	カフェやそのほかの仕事も経験しながら就職を目指す。	1 2 ヶ月	就労継続支援B型 月～金	スマイル 鈴木・本田 一緒に働く仲間	カフェでの仕事や他の仕事もしてみながら経験を増やします。	3 ヶ月	楽しい雰囲気の中で霞が関さんのできることのステップアップを図ってください。就労の方向性は随時本人と確認してください。
3	朝なかなか起きることができない	仕事に行く生活リズムを作る。	3 ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 病院	ピアハウス 豊田・川崎 ステップ 鈴木・本田 西村病院 西村・岩崎	就寝前の薬の時間を豊田さんと相談しながら調整します。目覚まし時計を使って起きられるように努力します。	1 ヶ月	仕事に行くことについてモチベーションを高める工夫をお願いします。